クリニック（講習会）における新型コロナウイルス感染症予防マニュアル

2020年10月

一般社団法人日本ゴールボール協会

大会運営部

このマニュアルは、一般社団法人日本ゴールボール協会が主催するオフィシャルクリニックならびにレフェリークリニックにおいて、新型コロナウイルス感染症の予防を目的に、日本スポーツ協会が定める「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に則り、ゴールボール競技の特性に合わせて定めたものです。

1．入館時

ア　「利用前2週間における発熱等の確認事項」のチェック。

イ　検温の実施。

ウ　アルコール消毒の実施。

エ　体育館指定の名簿等の提出。

※当協会指定の来場者情報用紙（全員の氏名・住所等の情報）を作成し1ヶ月間保管する。

2．利用中

ア　参加者全員がマスクを持参し、常時着用する（※競技中については別途定める）。

イ　常に喚起を行い、利用者同士のソーシャルディスタンスを確保する。

ウ　手洗い・手指消毒の遂行。

エ　食事中の会話は控え、ソーシャルディスタンスを確保する。

オ　ゴミの持ち帰り。

カ　体育館が定めるガイドライン記載事項の遵守。

3．競技中

ア　選手について

　　試合前後にアルコールによる手指消毒を実施。

　　プレー中はマスクの着用は任意とする（プレー中以外はマスクを着用）。

イ　ベンチのコーチ・控え選手

　　試合前後にアルコールによる手指消毒を実施。

　　全員マスクを着用。

ウ　受講者

　　試合前後にアルコールによる手指消毒を実施。

　　全員マスクを着用。

エ　スタッフ

　　試合前後にアルコールによる手指消毒を実施。

　　全員マスクを着用。

オ　審判員

　　試合前後にアルコールによる手指消毒を実施。

　　レフェリーは、マスクの代わりにフェイスシールドを装着し、ゴム手袋を着用。

飛沫防止のため、手で操作する電子ホイッスルを使用する。

競技補助員の内、ゴールジャッジとアイパッチはマスクとゴム手袋を着用。その他の競技補

助員はマスクを着用。

4．使用後

ア　体育館から借用した備品（机・椅子・競技器具）のアルコール消毒を実施。

イ　持参した備品のアルコール消毒を実施。

ウ　体育館フロアのアルコール消毒を実施。

エ　退館時に検温を実施。

5．参加者に発熱があった場合

ア　利用開始前の場合は、その個人の利用を中止し、その後2週間の経過確認と必要に応じて

保健所との連絡調整を行う。

イ　利用開始後の場合は、その個人との濃厚接触者を特定し、その後2週間の経過確認と必要

に応じて保健所との連絡調整を行う。

6．参加者が新型コロナウイルスを発症した場合

利用後2週間以内に、参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、体育館管理者に

対して速やかに報告を行う。

7．備考

感染予防に関る下記の備品については、主催者側で準備する。

検温器具

アルコール

ペーパータオル

フェイスシールド

使い捨てゴム手袋

以上